

## 遠山議員提出資料

平成14年4月23日

# 1. リーディング・プロジェクト（仮称）

～ 経済活性化のための重点的技術開発プロジェクト～

平成14年4月23日  
文部科学省

## < 基本概念・メルクマール >

明確な研究開発成果のターゲットを設定（ターゲット・ドリブン・モデル）

- \* 次代を先導するブレークスルーをもたらす
- \* 次代の社会・経済の発展の動力源となる技術課題をクリアする研究開発ターゲット。5年以内の達成
- \* 新たな市場創出と高い経済活性化効果

社会・経済での活用に関する具体的ビジョン（知財戦略の展開）

- \* プロジェクト着手段階から社会・経済での活用の将来像を描きつつ、実用化まで一貫的に推進

大学等と産業界のポテンシャルを最大限活用

（産学官一体プロジェクトによる経済再生）

- \* 知の創生の拠点である大学等、特殊法人・独立行政法人等と企業が一体的にプロジェクトを推進し、両者のポテンシャルを最大限に活用

## テーラーメイド医療システム 構築プロジェクト

<ターゲット>

個人個人に合った医療(テーラーメイド医療)の実現(特に、がん、糖尿病等に効果)

想定される成果・波及効果

- 副作用の削減  
→医療費を約5兆円削減効果
- 新規医薬・診断法の創出  
→世界市場で競争力確保約5~10兆円の経済波及効果

<概要>

- ・我が国が競争力を有する、個人の遺伝子解析
- ・臨床応用機器開発(BT,IT,NTの融合技術)等を統合的に実施



一人一人の遺伝子は0.1%のの違い

個人の遺伝子の差を解析し、個人個人に合った医療を実現

## ナショナル・リサーチグリッド・イニシアチブ (NRGI)

<ターゲット>

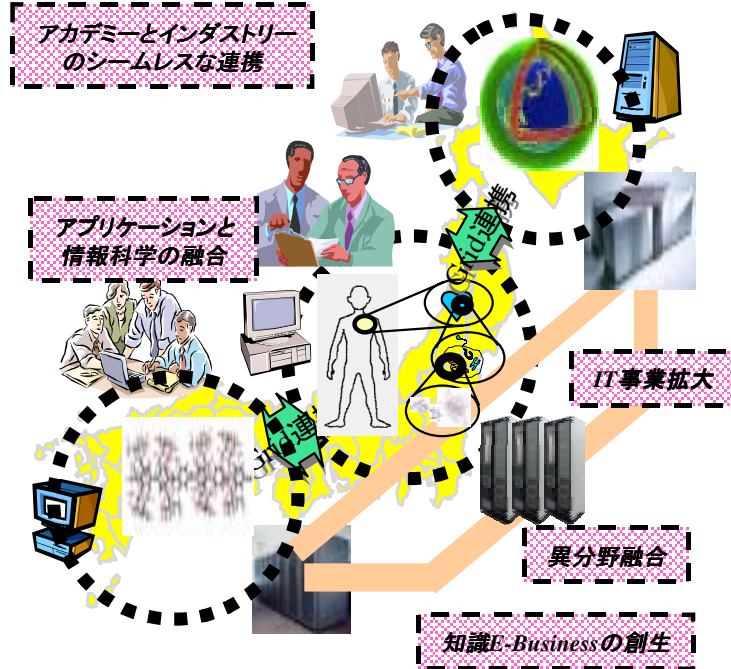
世界最高水準のコンピューティング環境の実現

想定される成果・波及効果

- バイオ・ナノテク等の先進分野における産業競争力の強化
- IT分野の研究開発の促進  
→市場規模約8兆円の創出が期待

<概要>

グリッド技術を活用した数百テラフロップス級の計算処理能力を持つコンピューティング環境を構築し、産学官連携、情報技術とバイオ、ナノ等他分野との融合領域研究を推進



## ポストシリコン集積回路世代 における世界標準技術の獲得

<ターゲット>

現在の半導体デバイスの限界を越える革新的な次世代デバイスの開発

想定される成果・波及効果

- 極微細化を進めて集積度を高めてきた現在の半導体デバイスの限界  
→2010年に到来すると予想
- 次世代デバイスを世界に先駆け開発することは我が国の競争力の鍵

<概要>

- ・安価で軽量、環境に優しい有機薄膜デバイスの開発
- ・超高集積、高機能、超省電力で、環境に優しいバイオデバイスの開発
- ・原子スイッチを用いた電子デバイスの開発

